

報道関係 各位

2019年4月3日
公益財団法人日本デザイン振興会

「2019年度グッドデザイン賞」応募受付を4月3日(水)より 開始

公益財団法人日本デザイン振興会(会長:川上元美、所在地:東京都港区)は、4月3日(水)より、主催事業である2019年度グッドデザイン賞の応募受付を開始します。応募はグッドデザイン賞のウェブサイトにて受け付け、受付締め切りは、5月23日(木)です。

グッドデザイン賞は、1957年から続く日本を代表する世界的なデザイン賞として、毎年国内外の企業や団体、デザイナーなどが多数応募し、これまでに多くの優れたデザインが受賞してきました。近年では、製造業以外の分野からの応募も増えており、特にデザインの活用を推進するNPOや自治体や教育機関などによる参加などが増加しています。



グッドデザイン賞ロゴマーク「Gマーク」



2018年度審査会風景



2018年度大賞受賞者

応募について

応募対象: 2020年3月31日までにユーザーが購入または利用でき、2019年10月2日の受賞発表日に公表が可能な、商品・建築・アプリケーション・ソフトウェア・コンテンツ・プロジェクト・サービス・システムなど。デザインの用途は一般用・業務用を問わず応募が可能。

応募資格: 応募対象の事業主体者、およびデザイン事業者。

応募費用: 審査費、出展費など段階に応じた費用が生じます。ただし岩手・宮城・福島に事業本拠地を置く応募者は応募費用を免除。

応募方法: グッドデザイン賞ウェブサイト(www.g-mark.org) の応募専用ページで、審査に必要な事項を5月23日までに登録。

おもなスケジュール

4月3日(水)~5月23日(木): 応募受付期間

5月31日(金)~9月3日(火): 一次審査、二次審査期間

10月2日(水): 受賞発表[グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、ロングライフデザイン賞]

10月9日(水): グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション(一般公開)

10月31日(木): 受賞祝賀会、大賞選出会、発表[大賞、金賞、グッドフォーカス賞]

10月31日(木)~11月4日(月): 受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」(一般公開)

本件への報道関係者のお問い合わせ: 株式会社オズマピーアール 担当: 角田、新井、鈴木
Tel: 03-4531-0214 E-mail: jdp@ozma.co.jp

一般からのお問い合わせ: 公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局
Tel: 03-6743-3777 E-mail: info@help.g-mark.org

賞の種類と受賞プロモーション

グッドデザイン賞は、「グッドデザイン賞」および、特別賞の「グッドデザイン大賞」、「グッドデザイン金賞」、「グッドフォーカス賞」で構成されます。グッドデザイン賞受賞対象のうち、特筆して優れた100件は「グッドデザイン・ベスト100」として選出されます。このグッドデザイン・ベスト100より「グッドデザイン金賞」、「グッドフォーカス賞」、「グッドデザイン大賞候補(ファイナリスト)」が選出され、「グッドデザイン大賞」はグッドデザイン大賞候補の中から決定されます。



参考:2018年度グッドデザイン大賞
[おてらおやつクラブ]

グッドデザイン賞 : 優れたデザイン

グッドデザイン大賞 : 2019年を象徴する「デザイン・オブ・ザ・イヤー」

グッドデザイン金賞 : デザインとしてのバランスが卓越し、将来へのモデルとなるデザイン

グッドフォーカス賞 : 以下の4つの社会的テーマに対する高い提案性を備えるデザイン

- 新ビジネスデザイン/新しいビジネスモデルや産業の創出、イノベーション促進に寄与するデザイン
- 技術・伝承デザイン/高度な技術・技能から生まれた製品のデザイン
- 地域社会デザイン/地域社会の発展・活性に貢献するデザイン
- 防災・復興デザイン/防災や大規模自然災害の復興に寄与するデザイン

受賞デザインは10月31日(木)から、東京ミッドタウン(六本木)で開催する受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」で紹介するほか、国内外で開催する展示会や見本市、販売イベントなどでも紹介を行います。

開催概要

- ・主催:公益財団法人日本デザイン振興会
- ・後援:経済産業省、中小企業庁、東京都、日本商工会議所、日本貿易振興機構(JETRO)、国際機関日本アセアンセンター、日本経済新聞社、読売新聞社(一部に後援予定を含む)

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞への応募受付も4月3日(水)より開始

私たちの生活を築き、これからも変わらずその役割を担い続けて欲しいデザインに贈られる「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」への応募も、4月3日(水)から開始します。

なお、この賞には企業やデザイナーによる応募のほか、商品のユーザーなどからの一般推薦も可能です。

- ・応募対象: 広く使用者や生活者から支持を得ている商品やサービスで、審査が行われる時点で10年以上継続的に提供され、またそれ以降も継続して提供されると想定できるもの
- ・応募資格: 企業、デザイナー
- ・応募方法: グッドデザイン賞ウェブサイトから登録
- ・応募受付期間: 4月3日(水)から5月23日(木)まで
(ユーザーからの推薦受付期間: 4月3日(水)から4月23日(火)まで)
- ・受賞発表: 10月2日(水)



参考:2018年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞
キャンバスオールスター



参考/グッドデザイン賞について

1957年に開始された日本を代表するデザイン賞。商品をはじめ建築、各種のアプリケーションやソフトウェア、デザインを活用したプロジェクトや取り組みなど、生活環境を構成する有形無形のさまざまな対象に贈られる。「社会を前進させるデザイン」という考え方のもと、受賞デザインに関する展示や出版、各種のイベントなど多彩なプロモーションを展開することで、受賞者の価値の向上に加え、社会へのデザインの普及を促し、デザインの可能性を高めることに一貫して貢献している。そのためグッドデザイン賞は85%もの認知率※を誇り、シンボルマークの「Gマーク」も広く親しまれている。これまでの累計受賞数は47,000件以上となる。

※日本デザイン振興会の2017年度インターネット調査による。

本リリースに記載のスケジュール、名称などは今後変更される場合があります。

参考資料:

2019年度グッドデザイン賞 審査委員長・審査副委員長のご紹介

審査委員長:柴田文江



プロダクトデザイナー
デザインスタジオエス 代表、武蔵野美術大学 教授

武蔵野美術大学卒業後、大手家電メーカーを経てデザインスタジオエスを設立。エレクトロニクス商品から日用雑貨、医療機器、ホテルのトータルディレクションなど、国内外のメーカーとのプロジェクトを進行中。iF金賞、毎日デザイン賞など多数の受賞歴がある。

審査副委員長:齋藤精一



クリエイティブ／テクニカルディレクター
株式会社ライゾマティクス 代表取締役

コロンビア大学建築学科で建築デザインを学び、2000年からニューヨークで活動を開始。その後、フリーランスのクリエイターとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。国内外にて受賞多数。

審査委員長メッセージ 「美しさ、そして共振する力」

いま、私たちはさまざまな変化の到来を目前にしています。時代の大きな変動とともに、私たち自身が変化の担い手として、暮らしや社会のあり方に積極的に働きかけていくことが望まれています。

「今より何かを少しでも良くしたい」人のそのような想いを起点としながら、実像を導いていくのが、デザインという営みです。例えばそれがひとつの小さなモノであっても、デザインの対象として向き合うことによって、生活者に対してどのような素晴らしい体験を届けられるかをイメージしたり、開発・製造や流通を担う人への配慮を行ったり、環境への負荷をなるべく減少させることに取り組んだり、理想に近づくためにさまざまなアプローチを辿りながら具現化ができるのです。

そのうえで、美しい対象として人々に伝わるのがデザインには求められます。デザインに備わる美しさとは、いわば携わった人の理念や意識や試行錯誤が積み重なり、洗練された結果、表出するものです。だからこそ、私たちはデザインの美しさを通じてさまざまなことを感じ取り、見出すことができます。さらに、人々の共感を呼び覚まし、望ましい変化をもたらしていくための「共振力」と言うべき力を得ることができるのではないのでしょうか。

美しさに表象される、人の想いや意志を、どれだけ豊かな解像度で読み解いていけるか。そして、より多くの人へと伝わる、共振する力を引き出していけるか。グッドデザイン賞は今年度も、皆さまと共にデザインの可能性に目を向け、広げることに取り組みたいと思います。多くの皆さまからのご参加をお待ちしています。